

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		私立幼稚園保護者に対する補助事業費 [幼稚園等園児保護者負担軽減事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	6	幼稚園費	目	1	教育振興費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育 課 保育・幼稚園 係					課長名	関田 孝志				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	私立幼稚園に幼児を通園させている、所得基準に該当する保護者。					→ 幼稚園の入園児童数。					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	保護者が幼稚園に支払う入園料や保育料の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。					→ 補助金により、幼稚園の保育料等の負担が軽減された児童の保護者数。					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	幼稚園教育の振興と充実を図るため、幼稚園に通園させている保護者に対し家庭の所得に応じて補助金を交付した。					→ 補助金により、幼稚園の保育料等の負担が軽減された児童の保護者数。					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	875	868	841					
	成果指標	②の数値	人	567	859	831					
	目標	②の目標値	人	567	859	831					
目標値設定の考え方 審査を経て交付決定し、負担を軽減することのできた保護者の人数とした。											
3 経費	事業費(実績)		円	62,973,292	52,926,600	51,303,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	36,344,292	35,040,200	33,951,600					
		特定財源(国・都・他)	円	26,629,000	17,886,400	17,351,400					
	(うち受益者負担)		円	0		0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0							
		職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000					
職員人件費(再任用)		円	0								
事業費+人件費		円	67,128,292	57,116,600	55,428,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H19 年度								
	(2) 環境の変化		令和元年10月に開始した幼児教育・保育の無償化と併せて、都の補助金額が変更された。また、近年、幼稚園に入園する児童が減少しているため事業にかかる費用が減少している。								

事業名称	私立幼稚園保護者に対する補助事業費 [幼稚園等園児保護者負担軽減事業]			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） マニュアルの作成。 当該補助事業については、幼稚園システムにおいて管理・支払い等を実施をしている。 東京都への実績報告等のデータを作成するにあたり、システムの改修等が済んでおらず、事務処理に時間を要している。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 実績報告等に必要なデータの吸い上げができるようシステム会社と調整を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 事務処理に多くの時間を要することから、効率化等を図ることが課題である。マニュアルの作成。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（                      ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 システムの改修、補助金の申請方法・提出方法等の見直し、マニュアルの作成を行い、効率化を図っていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	毎年人事異動等の影響により、担当が毎年代わっているため、業務の改善を図るまでに至っていない。			